

沖縄の環境保全活動に役立てていただくため

有料レジ袋収益金約640万円を自治体や団体等へ寄付

第2回 レジ袋収益金 贈呈式について

イオン琉球株式会社（本社：南風原町、代表取締役社長：鯉淵豊太郎 以下、当社）は、地域の環境保全活動にお役立ていただくため、2021年度のレジ袋収益金^{※1}643万9,718円を県内で環境保全活動・啓発を行う4団体さま等へ寄付します。

つきましては、第2回目となるレジ袋収益金の贈呈式を6月30日（木）10時より名護市の北部会館にて行いますのでご案内申し上げます。

当社では、2008年10月よりお客さまのご理解、ご協力のもと、レジ袋の原料である石油資源の節約やCO₂排出量の削減といった環境への配慮から「買物袋持参運動」を推進し、イオン・マックスバリュおよびザ・ビッグの食品売場で扱うレジ袋の無料配布を中止いたしました。

また、レジ袋有料義務化を前に2020年4月1日からは、食料品以外の衣料品・くらしの品を含む直営全売場でのプラスチック製、紙製を含むすべてのレジ袋の無料配布も終了しました。

レジ袋をご希望のお客さまには、資源の持続可能な調達および利用の考えのもと、バイオマス素材^{※2}やFSC認証紙袋^{※3}の環境配慮型素材に順次切り替え提供しております。スプーンやフォークなどのカトラリー類に関してもプラスチックから環境配慮型素材に順次切り替えております。

イオンではマイバッグを持参されたお客さまもレジ袋を購入されたお客さまも環境に貢献できるよう、2021年度のレジ袋収益金^{※1}は地域の環境保全活動や啓発活動に役立てていただくため、環境活動をおこなう団体さまへ寄付いたします。

これからも当社は、環境に配慮した商品の拡充や資源の持続可能な調達への取り組みなどを通じて、お客さまとともに脱炭素型・資源循環型社会の実現に取り組んでまいります。

記

【有料レジ袋収益金寄付の概要】

対象期間： 2021年3月1日（月）～2022年2月28日（月）

対象店舗： 沖縄県内「イオン」「イオンスタイル」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」
「イオンドラッグ」58店舗（対象期間中の店舗数）

寄付金額： 643万9,718円（団体さまにより寄付額は異なります。別紙参照）

寄 付 先： ・北部広域市町村圏事務組合
・一般社団法人HAPPY EARTH
・公立大学法人 名城大学
・NPO法人 やんばる・地域活性サポートセンター

以上

※1：収益金とは有料レジ袋の販売価格（税抜）から仕入原価を差し引いた金額です。

※2：国際的な認証機関SGS SAとUL Inc. よりバイオマス認証を取得し、バイオマス素材が約30～50%含有しています。

※3：FSC認証とは、適切に管理された持続可能な森から生産された木であることへの認証です。

第2回 レジ袋収益金贈呈式について

1. 日時 2022年6月30日(木) 10:00~10:30
 2. 場所 北部会館 3階会議室(名護市宇茂佐の森5丁目2-7)
 3. 出席者 【寄付金贈呈先団体さま 出席者】

北部広域市町村圏事務組合 理事長
 公立大学法人 名桜大学 理事長
 NPO法人やんばる・地域活性サポートセンター理事長
 一般社団法人HAPPY EARTH 代表理事

とぐちたけよ
 渡真知武豊様
 たからふみお
 高良文雄様
 ひがみお
 比嘉明男様
 おがわこういち
 小川孔一様

【イオン琉球(株)出席者】

イオン琉球(株) 代表取締役社長
 イオン琉球(株) 取締役デジタル担当兼社長室長
 イオン名護店 店長

こいぶちとよたろう
 鯉淵豊太郎
 めかるとしやういちろう
 銘苅尚一郎
 たいらこうじ
 平良 光司

4. 式次第 開式
 出席者紹介
 主催者よりご挨拶
 目録贈呈
 寄贈先各団体さまご挨拶
 記念撮影
 閉会



イオン名護店で行った第1回レジ袋収益金贈呈式の様子

【レジ袋収益金贈呈先団体および寄付金額について】

団体名	活動内容	寄付金額
北部広域市町村圏事務組合 (北部12市町村 名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、伊平屋村、伊是名村)	12市町村公募による地域での環境保全活動(清掃活動・ビーチクリーン・動物保護・環境教育・世界自然遺産保全の仕組みの構築など)	300万円
公立大学法人 名桜大学	環境問題・SDGsに関する共同研究や商品開発	約95万円
NPO法人 やんばる・地域活性サポートセンター	ヤンバルクイナなど希少生物の保護活動	50万円
一般社団法人 HAPPY EARTH	SDGs週間に伴い、HAPPY EARTH FESTA 2022 OKINAWAでSDGs普及促進啓蒙活動	200万円